



## 平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月13日

上場会社名 株式会社 中北製作所

上場取引所 大

コード番号 6496 URL <http://www.nakakita-s.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中北 健一

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役・管理部門管掌 並びに 経理部長 (氏名) 大平 文人

TEL 072-871-1331

四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年5月期第1四半期の業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	5,025	△2.0	496	5.1	534	5.4	312	24.7
23年5月期第1四半期	5,129	△20.6	472	△35.2	507	△32.6	250	△42.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	16.31	—
23年5月期第1四半期	13.07	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第1四半期	24,241	17,805	73.4
23年5月期	24,243	17,927	73.9

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 17,805百万円 23年5月期 17,927百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	10.00	—	20.00	30.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年5月期の業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,500	△6.8	750	△25.5	800	△24.2	460	△19.0	24.02
通期	20,000	△10.0	1,400	△27.1	1,500	△25.9	860	△24.9	44.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (1)「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期1Q	19,164,000 株	23年5月期	19,164,000 株
② 期末自己株式数	24年5月期1Q	17,093 株	23年5月期	17,093 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期1Q	19,146,907 株	23年5月期1Q	19,148,903 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は概ね終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において入手可能であり、かつ合理的と判断される情報に基づき作成したものであり、世界経済・為替相場変動等の様々な不確定要因により、実際の業績等は予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、詳細は四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(6) 重要な後発事象 .....	7
4. 補足情報 .....	8
生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における世界経済は、欧州で繰り返されるギリシャのソブリンリスクがイタリアやスペインのEU主要国にも波及する等、金融不安が広がる中で、米国も景気後退懸念が大きくなり財政赤字枠上限問題で議会が紛糾し国債格下げにつながりました。その一方で、これまで堅調に推移し世界経済の牽引役となってきた中国等の新興諸国でも、インフレ懸念による金融引き締めの影響で成長の減速傾向が認められます。先行きの世界経済の見通しはますます不透明な状況となっておりまいた。

わが国経済は、未曾有の災害をもたらした東日本大震災による生産・輸出の大幅な落ち込みからは、サプライチェーンの復旧により回復の過程をたどっております。しかし、先に述べた欧米の金融情勢の混乱にともなう歴史的な円高と原発事故の影響による夏場の電力不足は、輸出企業の採算悪化や生産の海外移転による空洞化を日本経済にもたらすと考えられ、その行く末に依然として暗い影を投げかけております。

このような経営環境にあつて当社は、主要な販売先であります造船業界のみならず、電力不足を補うための火力発電プラントの新設・再稼働やガスタービン発電への需要、急速に立ち上がってきております復旧・復興需要に伴う短納期品やメンテナンス要請に一つ一つ丁寧に誠実に微力ながら応えていくことが、この国難の時期において社会インフラの一端を担う当社の使命であると認識し、また当社の社会的責任(CSR)を果たすことであると考えて、受注活動を展開いたしました。

しかしながら、最近の超円高傾向による受注価格の低落や造船市況の低迷による影響は大きく、生産高に見合う十分な受注を確保することはできませんでした。

この結果、当第1四半期累計期間における受注高は、4,865百万円(対前年同期比5.5%増)と前年同期を若干上回る受注を確保しました。品種別では、自動調節弁2,074百万円、バタフライ弁1,344百万円、遠隔操作装置1,446百万円となり、金額ベースの対前年同期比で、それぞれ398百万円増、439百万円減、294百万円増でありました。

売上高では、震災復興関連の短納期品やサービス関係の売上もあり、ほぼ前年並みの5,025百万円(対前年同期比2.0%減)を計上しました。品種別では、自動調節弁1,824百万円、バタフライ弁1,688百万円、遠隔操作装置1,512百万円となりました。第1四半期累計期間末の受注残高は期首に比べて159百万円減の14,392百万円となりました。

利益面におきましては、コストダウン効果もあり経常利益で534百万円(対前年同期比5.4%増)を計上しました。また、投資有価証券評価損の計上がなかったこともあり、四半期純利益では312百万円(対前年同期比24.7%増)と前年同期を上回りました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ1百万円減少の24,241百万円となりました。

これは、有価証券が744百万円増加し、棚卸資産が209百万円増加しましたが、現金及び預金が729百万円減少し、売上債権が537百万円減少したこと等が主要な要因であります。その一方、負債の部では仕入債務が201百万円増加しましたが、大きな変動はありませんでした。

純資産の部では、四半期純利益による利益剰余金の増加はあったものの配当金の支払等もあり、結果的に大きな変動はありませんでした。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月期の業績予想は、平成23年7月12日公表のものと変更無く、売上高200億円、営業利益14億円、経常利益15億円、当期純利益8億6千万円の見通しとさせていただきます。国内外の経済情勢は、造船市況・受注の低迷や価格競争の激化等もあり、ますます不透明な状況になってきておりますが、効率的な生産と原価低減、修繕需要の掘り起こしに注力することにより年間計画の達成を目指す予定であります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

#### (追加情報)

##### (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,977,915	4,248,643
受取手形及び売掛金	8,610,365	8,073,039
有価証券	499,886	1,244,083
商品及び製品	802,757	1,000,583
仕掛品	1,253,406	1,291,483
原材料及び貯蔵品	1,388,532	1,361,842
その他	780,385	1,135,419
貸倒引当金	△43,370	△40,600
流動資産合計	18,269,879	18,314,496
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,549,166	1,549,166
その他(純額)	2,239,362	2,266,217
有形固定資産合計	3,788,528	3,815,383
無形固定資産		
	187,254	167,882
投資その他の資産		
投資有価証券	1,605,816	1,518,521
その他	398,363	431,695
貸倒引当金	△6,352	△6,165
投資その他の資産合計	1,997,827	1,944,052
固定資産合計	5,973,610	5,927,318
資産合計	24,243,490	24,241,814
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	163,349	179,693
買掛金	2,721,643	2,907,158
1年内返済予定の長期借入金	1,870,000	1,870,000
賞与引当金	240,000	120,000
製品保証引当金	133,000	129,750
未払法人税等	451,940	216,271
その他	414,808	715,858
流動負債合計	5,994,742	6,138,731
固定負債		
退職給付引当金	208,897	185,720
役員退職慰労引当金	48,730	48,730
資産除去債務	34,249	34,394
その他	29,061	29,061
固定負債合計	320,938	297,906
負債合計	6,315,680	6,436,638

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,150,000	1,150,000
資本剰余金	1,479,586	1,479,586
利益剰余金	15,331,338	15,260,613
自己株式	△8,409	△8,409
株主資本合計	17,952,516	17,881,791
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△24,706	△76,615
評価・換算差額等合計	△24,706	△76,615
純資産合計	17,927,809	17,805,176
負債純資産合計	24,243,490	24,241,814

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	5,129,211	5,025,260
売上原価	4,225,274	4,084,262
売上総利益	903,937	940,997
販売費及び一般管理費	431,532	444,684
営業利益	472,404	496,313
営業外収益		
受取利息及び配当金	20,500	23,522
不動産賃貸料	17,182	18,402
雑収入	2,757	2,837
営業外収益合計	40,440	44,761
営業外費用		
支払利息	5,289	4,852
為替差損	374	195
雑損失	16	1,417
営業外費用合計	5,680	6,465
経常利益	507,164	534,610
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,108	—
特別利益合計	3,108	—
特別損失		
投資有価証券評価損	64,764	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,591	—
特別損失合計	71,355	—
税引前四半期純利益	438,916	534,610
法人税等	188,583	222,397
四半期純利益	250,333	312,213



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、バルブ及び遠隔操作装置製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

1. 生産実績

(単位:千円)

期 別	23年5月期第1四半期 (22/6~22/8)		24年5月期第1四半期 (23/6~23/8)		23年5月期 (22/6~23/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	1,983,930	36.9	1,889,976	36.3	8,122,193	36.6
バタフライ弁	1,741,246	32.4	1,747,121	33.6	7,524,463	33.9
遠隔操作装置	1,647,415	30.7	1,565,309	30.1	6,528,934	29.5
合 計	5,372,591	100.0	5,202,406	100.0	22,175,590	100.0

2. 受注状況

受注高

(単位:千円)

期 別	23年5月期第1四半期 (22/6~22/8)		24年5月期第1四半期 (23/6~23/8)		23年5月期 (22/6~23/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	1,676,930	36.4	2,074,974	42.7	7,312,944	41.8
バタフライ弁	1,783,917	38.7	1,344,848	27.6	5,552,748	31.7
遠隔操作装置	1,152,058	24.9	1,446,134	29.7	4,639,708	26.5
合 計	4,612,905	100.0	4,865,956	100.0	17,505,400	100.0

受注残高

(単位:千円)

期 別	23年5月期第1四半期 (22/8)		24年5月期第1四半期 (23/8)		23年5月期 (23/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	4,550,096	24.2	4,193,937	29.1	3,943,132	27.1
バタフライ弁	8,136,150	43.4	5,687,720	39.5	6,031,359	41.4
遠隔操作装置	6,072,310	32.4	4,510,730	31.4	4,577,200	31.5
合 計	18,758,556	100.0	14,392,387	100.0	14,551,691	100.0

3. 販売実績

(単位:千円)

期 別	23年5月期第1四半期 (22/6~22/8)		24年5月期第1四半期 (23/6~23/8)		23年5月期 (22/6~23/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	1,892,679	36.9	1,824,169	36.3	8,135,657	36.6
バタフライ弁	1,661,864	32.4	1,688,487	33.6	7,535,486	33.9
遠隔操作装置	1,574,668	30.7	1,512,604	30.1	6,557,428	29.5
合 計	5,129,211	100.0	5,025,260	100.0	22,228,571	100.0
うち輸出高	881,096	17.2	857,757	17.1	3,894,345	17.5